

# マルチパッケージサービス「Elemental Cloud」

独自ドメインとAIが手掛けるビジネスエコノミー



「人がやるべきことをやる」——AI時代に、人間の時間と情熱を解放する。



「ツールに人が合わせる」  
システム疲れからの完全な解放。



指示待ちの道具から、共に成長し自律的に行動する  
「デジタル社員（住人）」への進化。

# 外部クラウドへの依存から「究極のデータ資産化」へ

## 従来のSaaS / 外部API



**データ依存:** 究極的なプラットフォームロックイン。

**運用コスト:** トークン消費による指数関数的なコスト爆発。

**セキュリティ:** 計算変数の外部転送に伴う構造的な流出・再構築リスク。

## Elemental Cloud



**データ主権:** 完全自己ホスト。ブロックチェーンDBによる改ざん不可能な信頼性。

**限界費用:** 固定インフラコストのみ。スケール時の限界費用が低下。

**完全な秘匿性:** オンプレミス内で計算・保管が完結する絶対的安全性。

# 「機能」ではなく、あなたの会社専用に働く「AI組織」



113種類の業務ツールを  
内蔵し、自社特有のルール  
を記憶して自律行動。



1環境につき最大25体の  
キャラクター（経理担当、  
営業担当など）を配備可能。



AI同士がタスクを依頼し合う  
「完全分業・チーム連携」。



# あらゆるエコシステムとシームレスに結合する拡張ハブ

**MCP標準対応:**  
既存の業務システムと  
瞬時に結合し、直接  
読み書きを実行。

**MCP Core Hub:**  
既存の業務システムと  
瞬時に結合し、直接  
読み書きを実行。



**マルチモーダル拡張:**  
会話から直接、高精細な  
画像、動画生成、Figma  
デザイン変換まで自律実行。

# APIが存在しない世界もハックする「ELC Bridge」



## 限界の突破:

APIがない旧システムや外部ポータルでも、AIが実機を直接操作。



## 行動能力:

DOM読取、クリック、入力、スクロール、ファイル読み書き。



## 2層の同意モデル:

人間の明示的な許可なしには絶対に動かない安全制御。



人間の許可

(Layer 2 Consent)



Element AI Agent



ELC Bridge

(Chrome拡張 / Local PC Handler)



# 機密情報を絶対に外に出さない。11層の完全防衛アーキテクチャ

大前提: 自社サーバー完結型 (データ流出ゼロ) の徹底防御。機密環境変数の自動スクラブ機能を搭載。

AES-256 Vault 暗号化

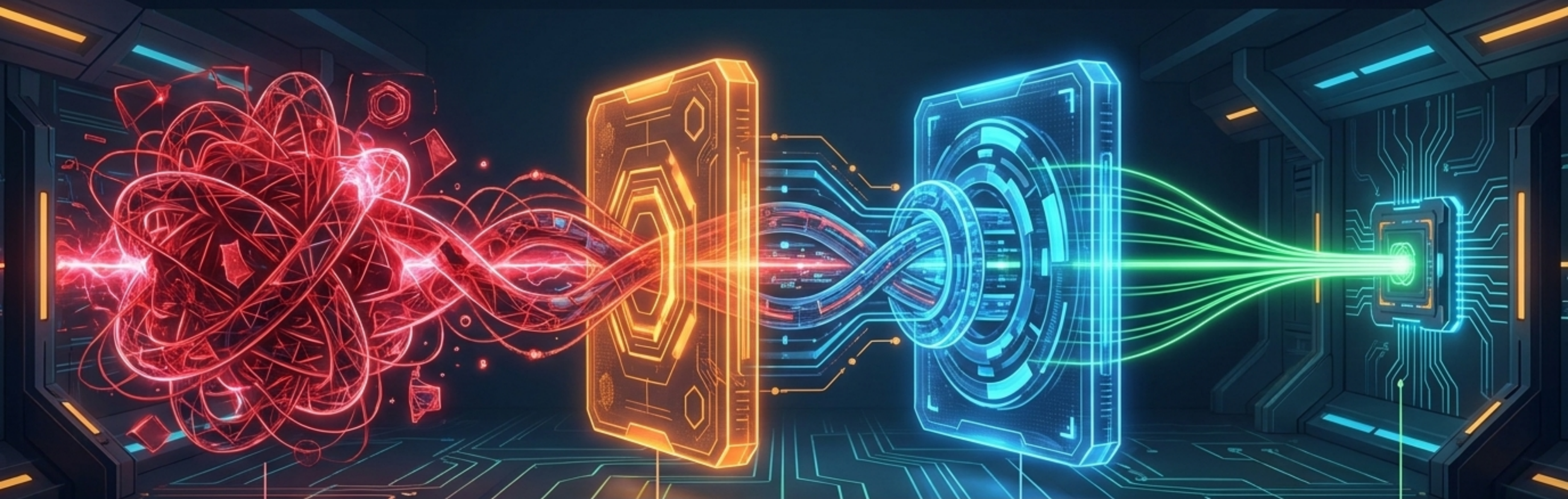
Auto-Mode 分類器  
(別のAIによる危険コマンドの事前検知ブロック)

Core Data /  
Credentials

Path Rules & Command Block  
(機密ディレクトリへの物理的  
アクセス遮断)

# 大規模AI運用の罠「累積コスト」を打破する特許級アプローチ

**課題:** 長時間セッションによるコンテキスト肥大化とAPIコストの指数関数的増加。





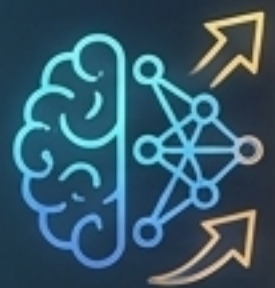
**Raw Massive Payload /  
Exponential Cost**

**クライアント側:  
Payload Pruning**  
(古い画像の自動置換、思考ブロック  
の除去で入力最大50%削減)

**サーバー側:  
Context Mgmt & Caching**  
(システムプロンプトの動的分離と  
サーバーサイド圧縮で出力最大75%削減)

**Streamlined  
Token Payload**

# 次なる到達点。完全オンプレミスで稼働する独自LLM「Flu」

	サードパーティAPI (Claude/OpenAI等)	新Flu LLM (独自開発)
秘匿性 / データセキュリティ	外部通信必須。 構造的漏洩リスクの残存 	絶対的な秘匿性。 外部通信を一切必要としない 完全オンプレミス 
運用コスト	トークン消費に依存。 スケーリングによる 変動コスト 	固定インフラコストのみ。 100%自社コントロールの ビジネスエコノミー 
自律性 / 最適化	外部規約に完全従属。 依存 	人間のフィードバックが 直接教師データとなり、 自社の成功法則を 世界最速で学習 



# コアシステムからの流動的なエコシステム拡大

従来の垂直型（サイロ型）展開から、サービス単位で独立・高速アップデートが可能な流動的アーキテクチャへ。  
ドメイン単位のマイクロサービス



# 巨大システムへの執着を捨てる「守破離サイクル」

AIの発達による超高速開発とエンジニアの経験値を掛け合わせる。  
システムの陳腐化をゼロへ。

## 【離】

見出した「根本的価値（真のドメイン的価値）」を抽出し、AIと共に超高速で再構築し続ける流動的な開発体制。

## 【守】

大規模システムの運用と課題発見

## 【破】

既存ソースコードと複雑な依存関係への執着を捨てる。  
何千ものAPIや画面をあえて破壊。

# Elemental Cloud が約束する3つのパラダイムシフト



## Data Sovereignty

脱SaaS。データとインフラを  
100%自社で保有・管理する  
究極の防衛策。



## Autonomous Workforce

ELC Bridgeと多彩なAPI (MCP)  
連携を駆使し、自律的に思考し  
行動する「AIの組織」。



## Future-Proof Ecosystem

特許級のトークン最適化と、完全  
秘匿の独自LLM「Flu」がもたらす  
限界のないスケラビリティ。

# 「人がやるべきことをやる」 新たな経済圏が、ここから始まる。

AI が自律的に実行し、人間が顧客との対話や新サービス開発など  
「人にしかできないこと」に集中する未来へ。

Elemental Cloud